

ほくたん便り だよ

No.4 2008(平成20年)
1月発行

編集 / 発行：北但行政事務組合
組合構成市町：豊岡市・香美町・新温泉町



もくじ

| | |
|-------------------|-------|
| 管理者・議長あいさつ | 2 ~ 3 |
| 候補地選定の状況 | 4 ~ 6 |
| 北但地域環境フォーラム | 7 |
| 組合ニュース | 8 |

候補地選定委員会を設置 改めて候補地を選定します

組合では昨年7月に広域ごみ・汚泥処理施設の前候補地を断念したことにより、選定委員会方式により改めて候補地を選定することになりました。

選定委員会は、第1回目を11月21日、第2回目を12月19日に開催し、委員会の進め方、基本条件の審議等を行いました。今後、一定の条件等でありストアップした箇所から段階的に選定基準や評価等の審議を進めて行き、本年度内には候補地を選定する予定です。

ホームページを開設しています

北但行政事務組合では、ホームページを開設し、これまでの取組みや協議内容などを公開しています。下記のURL(ホームページアドレス)をご覧ください。

URL <http://www.hokutan.jp>





北但行政事務組合
管理者
中 貝 宗 治



新たな候補地選定と早期の整備事業着手に向けて

新しい年が明けました。一つの節目を迎えて、皆様それぞれに思いを新たにしておられることと思います。

私もまた、管理者としてごみ問題に取り組む決意を新たにしています。ごみ問題は決して華やかな分野ではありません。そもそも「み自体が要らない」として捨てられた物ですから、人々が愛情を注ぐ対象でもありません。しかし、ごみは私たちの生活それ自体から出てくるものであり、私たちの生活と切っても切り離

すことができないものです。

私たちは、好きでも嫌いでも自分たちが出すごみから目を背けてはならないし、付き合っていくほかありません。

何よりも先ず、徹底してごみを減量化すること。そして、それでもなお現実問題として発生してくるごみを、安全、確実かつ衛生的に処理すること。今年もこの2つのことを基本に、ごみ問題に取り組んでまいります。皆様もぜひご自身自身の生活の問題としてさらなる関心をお持ちいただ

きますようお願いいたします。

処理施設を共同設置

さて、本組合は北但1市2町のごみ・汚泥処理施設を共同設置することを目的に設立されました。現在1市2町はそれぞれのごみ処理施設を有し、運営しています。しかし、いずれも平成25年頃には耐用年数を迎えることから、ダイオキシン対策の徹底、ごみ処理コストの削減、住民負担の軽減）、エネルギーの効率的使用の3つを目的に、共同設置することにしたものです。

候補地を改めて選定

本組合では、平成16年に豊岡市日高町上郷区を適地として選定し、3年をかけて生活環境影響調査の受け入れをお願いしてきました。しかし、残念ながら昨年7月に区総会で受入れが不同意になり、上郷区での建設を断念する結果となりました。

今、早急に新たな候補地を選定する必要に迫られています。

選定委員会方式で選定

そこで、組合は選定方式を

「選定委員会方式」と決め、昨年11月に市町住民や学識経験者で組織する候補地選定委員会を設置し、候補地の選定作業を進めています。

今後は、選定委員会において選定手法・手順等の妥当性を委員会において審議、検証していただき、一次候補地を選定した後、年度内には最終的な候補地を選定していただくこととしています。

また、候補地地区に対しては、生活環境の保全や増進をはじめ、環境創造の先進的取

組み、インフラ整備や農林業振興など、地区との協議を踏まえた地域振興策を講じることにしています。

早期事業着手を目指して

自らが出したごみは自らの責任で処理することが自治の基本です。焼却炉等の機械設備には必ず寿命があり、それを見据えた準備を着実に進める必要があります。施設整備に早期に着手できるよう全身全霊をかけて取り組んでまいります。ご理解とご支援をよろしくお願い致します。



新年



北但行政事務組合議会
議長（豊岡市議会）
綿 貫 祥 一



組合議員のご紹介（平成19年 11月27日現在）

11月の豊岡市、新温泉町の臨時議会において、北但行政事務組合選出議員の改選がありました。また、組合議会では11月27日の臨時議会で役員改選が行われました。

（敬称略）

| | | |
|---------|---------|----------|
| 議 長 | 綿 貫 祥 一 | （豊岡市議会） |
| 副 議 長 | 高 橋 邦 夫 | （新温泉町議会） |
| 監査委員 | 椿 野 仁 司 | （豊岡市議会） |
| 議 員 | 青 山 憲 司 | （豊岡市議会） |
| | 稲 垣 のり子 | （豊岡市議会） |
| | 植 田 光 隆 | （新温泉町議会） |
| | 後 垣 晶 一 | （香美町議会） |
| | 岡 坂 峰 雄 | （新温泉町議会） |
| | 門 間 雄 司 | （豊岡市議会） |
| | 柴 田 幸一郎 | （香美町議会） |
| | 長 瀬 幸 夫 | （香美町議会） |
| | 福 田 嗣 久 | （豊岡市議会） |
| | 古 谷 修 一 | （豊岡市議会） |
| | 古 池 信 幸 | （豊岡市議会） |
| | 升 田 勝 義 | （豊岡市議会） |
| | 宮 脇 諭 | （新温泉町議会） |
| | 村 岡 峰 男 | （豊岡市議会） |
| | 森 井 幸 子 | （豊岡市議会） |
| 山 本 賢 司 | （香美町議会） | |

議会運営委員長、 同副委員長

住民の皆さんの立場に立ったチェックと循環型社会の推進

新年あけましておめでとう
ございます。

昨年11月、第65回北但行政事務組合議会におきまして、議長に就任いたしました豊岡市議会の綿貫祥一でございます。もとより微力でございますが、

昨年を振り返りますと、建設

「広域ごみ・汚泥処理施設」の整備を目指し、議会の円滑な運営のため、誠心誠意全力を傾注する所存でありましたので、よろしくお願い申し上げます。

7月の区総会におきまして、受け入れできないとの決定がなされ、断念することになりました。

設置地として豊岡市日高町上郷区の皆様に、「ご理解を得るようお願いしてききましたが、

社会の推進とごみの排出量の抑制に努めてまいりたいと考えています。

何卒、皆様の一層のご理解と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

市民、町民の皆さんの立場に立つて、安心、安全な施設となりますよう十分チェックすることは当然として、循環型

これに伴い、組合では、新たな建設候補地を選定委員会方式で選定作業を進め、本年度中の選定を目指しています。一日も早い建設候補地の決定を望むところでございますが、地元関係皆様の充分なご理解

を得た上での決定でなければなりません。

議会としては、1市2町の

候補地選定作業を進めています

候補地選定委員会にて活発な議論
選定については、次のような手順を進めています。



□選定範囲の決定(6ページ別図)
・施設候補地の選定範囲については、ごみ処理経費において運搬経費が大きな割合を占めることから、経済性、効率性を重視し、一定の範囲に限定することになりました。

・範囲については、ごみ・汚泥量の重心を求め、この重心に近い主要幹線の県道福田交差点が最も収集運搬効率が良い結果となったため、ごみ収集車の収集時間、運搬時間などを考慮し、この交差点から道路延長15kmの範囲を選定範囲としました。

□選定方式の決定

・選定方式については、(1)直接決定方式、(2)選定委員会方式、(3)公募方式の3方式の長所・短所を比較検討しました。その結果、第三者機関の委員会においては学識経験者市町民委員により幅広い意見が取り上げられること、また、選定過程において公平性・透明性が確保されることから、選定

委員会方式に決定しました。
・委員会構成は、学識経験者3名、環境衛生団体等関係者8名、公募市町民3名、関係市町課長会会長1名の計15名としました。

□土地情報の提供依頼

・土地情報の提供について、概ね候補地選定範囲内に位置する豊岡市、香美町計258区の区長、さらには建設業協会等に対し、候補地選定に関する広報及び土地情報提供の依頼をし、その結果数件の情報提供がありました。
・北但地域の住民に対しても、組合広報お知らせ版、組合ホームページ等で依頼をしました。

□選定作業の現状と今後の予定

・組合は、候補地を選定する基本条件として基本要件2項目(面積約3ha以上及び選定範囲)と除外条件10項目(自然公園区域、地すべり危険箇所等)を設定しました。
・選定作業については、現在関係市町の協力を得ながら、施設候補地選定範囲内において、除外条件項目を1万分の

1の地図上に図示し、候補地の絞り込みを行っています。

・今後は、組合が基本条件により絞り込み、リストアップした箇所及び土地情報の提供があった箇所等から、一次評価案及び一次候補地案を作成の上、選定委員会に提案し、その選定手法・手順・評価等の妥当性を委員会において審議、検証してもらい、一次候補地を決定していく予定です。

□選定委員会の状況

11月6日に学識経験者を除く市町民委員で福知山市、加古川市の先進地視察を行いました。次に第1回選定委員会を11月21日に開催し、正副委員長の選任や施設整備事業概要などの報告、また第2回選定委員会を12月19日に開催し、委員会の進め方、基本条件などの審議を行いました。
候補地の決定については、委員会を計8回程度開催し、一次候補地からさらに二次評価を行い、その後候補地を選定のうえ組合管理者へ報告してもらい、本年度内には構成市町長会にて正式に決定する予定です。

(敬称略)

候補地選定委員会のスケジュール計画

第3回委員会以降の協議事項はあくまで計画です。

| 開催日程及び予定 | 協議事項及び計画 |
|--------------------------|---|
| 平成19年 11月6日 | 一般市町民委員事前研修(視察) ・福知山市環境パーク ・加古川市新クリーンセンター |
| 第1回選定委員会 11月21日 | ・委嘱書交付 ・正副委員長の選任 ・事業概要等報告 ほか |
| 委員会学習会 12月3日 | ・豊岡清掃センター視察 ・学習会 |
| 第2回選定委員会 12月19日 | ・委員会の進め方の審議 (候補地選定の手法と作業手順) ・基本条件の審議 |
| 第3回・4回選定委員会 平成20年1月上旬 | ・一次評価の審議 |
| 第5回以降 選定委員会 | ・一次選定候補地の決定・公表 |
| | ・一次選定候補地の現地調査 ・二次評価の検討 |
| 3月中(予定) | ・一次選定候補地のヒアリング ・二次評価 |
| | ・候補地の選定 ・候補地を選定し管理者に報告 ・組合構成市町長会を経て候補地を決定 |

選定委員会の傍聴は、当初非公開としていましたが、委員からの意見を尊重し、原則公開とします。ただし、委員の自由な意見交換に支障をきたす恐れがあるなど、内容により委員長が会議を公開しないと宣言する場合があります。委員会の開催日は、組合ホームページでお知らせします。

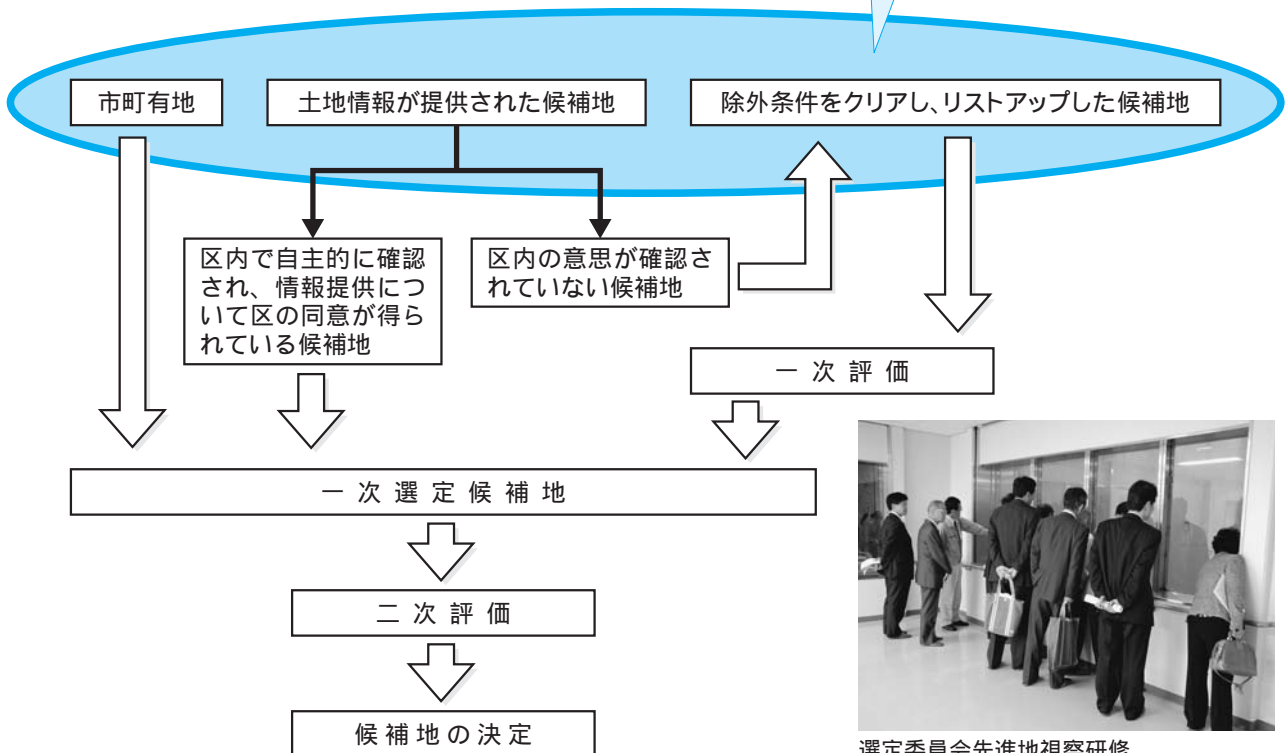
| 区分 | 市町名 | 氏名 | 団体名・職名 | |
|------------|---------|---------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| 学識経験者 | | 寺島 均 | (社)全国都市清掃会議 技術部担当部長 | |
| | | 森住 明 弘 | NPO 大阪ゴミを考える会 理事長 | |
| | | 八村 智 明 | (財)日本環境衛生センター-西日本支局環境工学部処分場対策課長 | |
| 環境衛生団体等関係者 | 豊岡市 | くさか 日下部 昌 男 | 豊岡市環境衛生組織連合会 会長 | |
| | | よし 吉田 勲 | 日高環境衛生推進協議会 副会長 | |
| | | さだ 定元 之 雄 | 竹野環境衛生推進協議会 副会長 | |
| | 香美町 | か 狩野 のぶ 昇 | 出石環境衛生推進協議会 会長 | |
| | | やま 山 だ 田 まさ 政 五 郎 | 香美町連合自治会 会長 | |
| | 新温泉町 | いの 井 うえ 政 のぶ 信 | 香美町連合自治会 副会長 | |
| | | なか 中 むら 村 まさ 聖 し 司 | 新温泉町環境保全推進協議会 委員 | |
| | 公募市民・町民 | 豊岡市 | なか 中 た 田 たけ 雄 ひさ 久 | 新温泉町農業委員会 委員 浜坂南小学校 PTA 会長 |
| | | | あら 荒 い 井 やす 泰 し 史 | |
| 行政 | 新温泉町 | くぼ 久保田 た 八 千 代 | | |
| | | にし 西 がき 垣 よし 好 ひる 博 | | |
| | | あし 足 だ 田 ひと 仁 し 司 | 豊岡市市民生活部生活環境課長 | |
| | 計 | 15名 | | |

候補地選定委員会の皆さん

委員長 副委員長

候補地選定の手法イメージ図

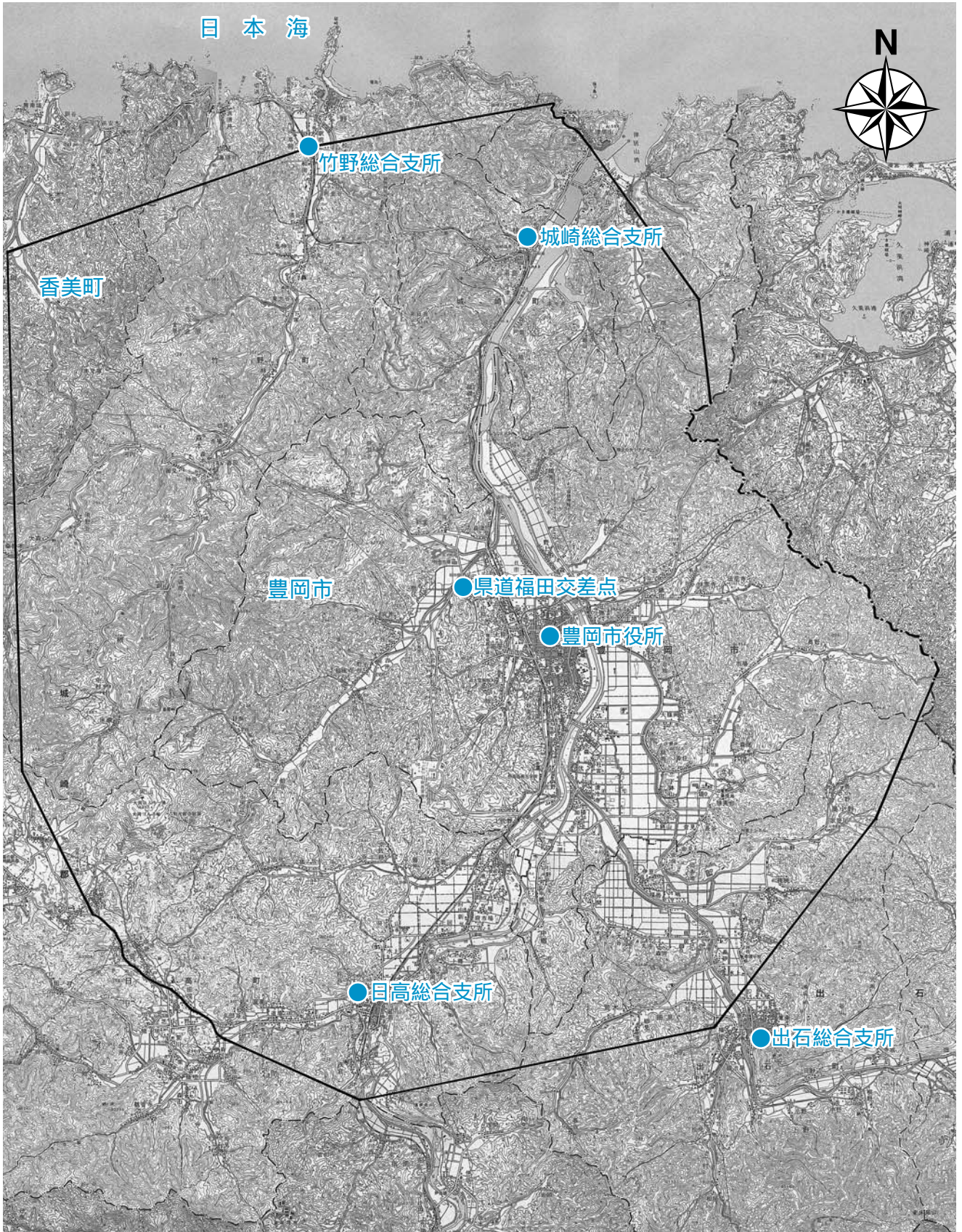
選定範囲内(ごみ・汚泥量重心から概ね延長15km範囲)



選定委員会先進地視察研修
(加古川市新クリーンセンター)

候補地選定範囲図 (県道福田交差点から道路延長15kmの概ねの範囲を表示したものです)

選定範囲



北但地域環境フォーラムを開催

新温泉町・豊岡市の2会場で

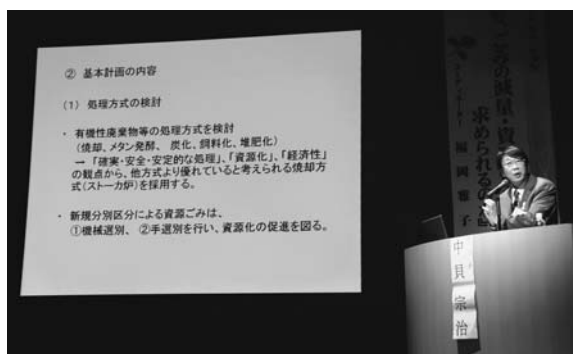
北但地域環境フォーラムを、昨年7月22日に新温泉町夢ホールで、また10月28日に豊岡市民プラザで開催しました。両会場とも北但1市2町から約250名の住民が参加され、新施設の必要性や事業の概要、ごみの減量化・資源化等について熱心に耳を傾けていました。



新温泉町でのパネルディスカッション



「温泉地域消費者の会」による新喜劇さながらの環境劇で、会場は大爆笑



豊岡市での管理者事業概要説明

新温泉町の混声合唱団「しおかぜ」によるオーブニングコーラス



豊岡市でのパネルディスカッション



内容

1. 事業説明

テーマ：「広域ごみ・汚泥処理施設整備事業の概要について」

説明者：組管理者 中貝宗治

【主な事業説明内容】

- 広域化の必要性
- 広域ごみ・汚泥処理施設整備基本計画の概要
- ごみ処理における行政と住民の役割
- 新たな施設候補地選定 ほか

2. パネルディスカッション

テーマ：「今なぜ、ごみの減量・資源化が求められるのか」

コーディネーター：大阪工業大学准教授 福岡雅子さん

パネリスト：

| 新温泉町会場 | | 豊岡市会場 | |
|--------------|--------|-------------|--------|
| 新温泉町長 | 馬場 雅人 | 組管理者・豊岡市長 | 中貝 宗治 |
| 香美町環境センター副所長 | 小松 定之 | 豊岡市環境センター所長 | 安木 洪 |
| 住民代表 | 笹谷浩二さん | 住民代表 | 安井照代さん |
| 事業者代表 | 朝野尚美さん | 事業者代表 | 西村秀樹さん |

組合ニュース

施設建設に伴う地域振興計画の基本方針を策定しました

広域ごみ・汚泥処理施設候補地選定に当たっては、最初から、施設が建設される地区に対しては、生活環境保全及び増進をはじめ、環境創造の先進的な取り組み、インフラ整備や農業振興などについて、地元地区の皆様と協議しながら、地域振興を図っていく方針を明らかにしています。

1 第一次候補地選定の際
 第一候補地を選定した際、重ね、「広域ごみ・汚泥処理施設建設に伴う地域振興計画の基本方針」を策定しましたのでお知らせします。
 なお、この地域振興計画の基本方針は、今後、施設候補地の選定過程において次のとおり取り扱うものです。

には、地域振興計画の基本方針と市町に提出されている地区要望事業や地区課題を一緒に地区に対し提示し、説明します。

2 候補地として決定の際
 候補地として決定した地区に対しては、地域振興計画の基本方針に基づく基本的な取り組み及び地区固有のまちづくりの課題解決に向けた取り組みについて、当該地区と具体的に協議しながら実施事業を決定し、地域振興計画としてまとめます。

【基本的な取組み】

この5つの基本的な取組みについて、例示的にメニュー案を作成し、地区固有の取組みを住民と協議しながら決定していきます。(メニュー案の詳細は、組合ホームページに掲載しています)

| 項目 | 内容 |
|----------------|---|
| 1 地区活性化に向けた取組み | 地区のコミュニティ活動の場を整備するとともに、施設及び周辺緑地帯の一部を地区住民に開放します。 また、自主的なコミュニティ活動への支援や施設運営に対するモニター活動への助成を行います。 地区の状況に応じた過疎対策を実施します。 |
| 2 先進的な環境創造の取組み | 地区内及びその周辺において、人と自然が共生できる豊かな環境を保全するとともに、循環型社会を構築するための先進的な取組みを進めます。 |
| 3 快適な住環境の整備 | 快適な住環境を確保するため、地区内の生活道路・排水路整備等の要望に配慮するとともに、国県への要望事業の促進に努めます。さらに、地区住民との協議により、必要な環境整備を検討します。 |
| 4 地元経済の振興 | 地元経済の振興を図るため、施設管理運営委託会社への地区住民の雇用促進等に努めるとともに、農林業振興事業等を重点的に実施します。 |
| 5 安全・安心の地域づくり | 安全に安心して生活できる環境を整備するため、施設を防災拠点(避難所)として位置付けるとともに、自然災害対策、交通安全対策等を進めます。 |

会通信

H19/6/4

第44回議員協議会
 上郷区から適地の場所変更余地の有無についての「要望書」が提出され、組合として検討した結果、変更の余地はあると判断したことの説明、報告を行い、質疑が行われました。

8/31

第45回議員協議会
 上郷区から生活環境影響調査受入れ不同意との回答があったことから同区での建設を断念したこと、また今後の候補地選定方式の検討等について説明、報告を行い、質疑が行われました。

9/28

第63回組合臨時会
 一般会計補正予算のほか、報告2件、条例改正1件の計4件が提案されました。この内補正予算は、選定委員会方式で委員会を設置するための委員報償費、旅費等

10/16~23

第64回組合定例会
 平成18年度組合一般会計歳入歳出決算の認定について提案し、原案のとおり認定されました。

11/27

第65回組合臨時会・第46回・47回 議員協議会
 組合正副議長の改選及び議会運営委員の改選を行いました。また、組合からは議会選出の監査委員の選任につき同意を求めることの提案があり、原案のとおり可決されました。(改選については3ページをご参照ください)
 臨時会終了後、引き続き議員協議会を開催し、施設建設に伴う地域振興計画の基本方針、造成工事等概略設計図作成、候補地選定委員会の状況について説明、報告を行い、質疑が行われました。

を補正したものです。案件は慎重に審議され、全て原案のとおり可決されました。